



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Equipped For a Purpose 「常に備えあれ、目的に向かって」
 アジア会長標語 The New Millennium, The New Y's Men 「ニューミレニアム、ニューワイズメン」
 西日本区理事標語 「イノベーション(革新) - 理想のワイズを求めて」
 中部部長標語 「ワイズは自然体で新世紀へ」
 クラブ会長標語 「ワイズを楽しもう！」

2001年7月号

< 今月の聖句 >

天は神の栄光を物語り 大空は御手の業を示す。昼は昼に語り伝え 夜は夜に知識を送る。話すことも、語ることもなく 声は聞こえなくても その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。

詩篇19

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2001年7月例会ご案内

第一例会(一泊例会)

と き : 7月14日(土)
 と ころ : 師 崎
 時 間 : PM15:00~
 テーマ : 別頁参照

第二例会

と き : 7月24日(火)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM7:00~

その他

YMCA会員フェスティバル

と き : 7月20日(日)
 と ころ : 鬼崎港(新港)
 時 間 : 午前10時~

募集対象

YMCA会員、職員およびその友人
 リーダー等々

プログラム

会員活動PRタイム

交流タイム: バーベキュー、クルージング

参加費 : 2,000円(チケット制)

4 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(4月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	16名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	20名	第 2 例 会	12名	当 月・現 金		感謝 ファンド	
当月出席率	83.33	部 会 他	1名	累 計		累 計	9690	

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

= 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

6月第一例会報告

美しい住まいの庭

6月は造園のプロ早川廣志氏により、美しい庭を造るための土と植物の関係等を判りやすく講演していただきました。



土壌の性質と改良では土をいかに植物に適した酸素の多いものに改良してやるか、その具体的方法について。土壌昆虫と微生物では、肥えた土はミミズが造り、植物の病気のもとには根・体表面から細菌が入り込むのが原因、土壌の処置と薬剤の散布で植物を保護する。植物と栄養の関係では、肥料の三要素（窒素・リン酸・カリ）で土を肥やし植物を正常に育成させる。植物病虫害の防除では、病害は早期発見と適切な駆除が必要。農薬には殺菌剤と殺虫剤がある等々・・・。庭にある植物の名前すらわからない身には非常に勉強になりました。これでも家庭菜園歴4年（10年前）ですが、野菜とか高山植物はわかって身近な植物がよくわからない。やはり庭造りはプロにお任せした方がよりベターな気がします。

荒川

嬉しい報告

このたび三井兄がチャリティーラン実行委員長に就任されました。これまでグランパスの活動の一部として行っていたプログラムがより幅をもった形となりました。三井兄のご就任挨拶と坂倉兄の協力要請を掲載しました。

突然第八回チャリティーラン実効委員長に指名を受けて戸惑っていましたが、委員会運営が例年よりスケジューリング的にほぼ1ヶ月遅れていることを聞かされさらに困惑しました。が指名をしていただいたことを天命！と受け止め先日第1回の実行委員会を開くことが出来ました。これも一昨年千円のラッフルでアメリカビューレット・パッカートのコンピューターを当てたことが始まりでした。

話は戻りますが、チャリティーランも今回第八回を迎えることが出来ましたが問題も多々あり11月10日の開催まで紆余曲折があると思います。

参加チームも最盛期の67チームを数えましたが昨年はその時の実行役員の奮闘努力して頂いても47チームとなりました。今年は時節柄参加チームの参加減少が見こまれ苦戦することと思われます。

委員長指名を受け就任した以上、微力ながらご指導たまわりながらクラブのメンバー、およびワイズメン、関係各位の協力を得てチャリティーランを無事開催、終了することに努力する所存です。

チャリティーランの趣旨のご理解と更なる積極的な参加をお願い致します。

第8回チャリティーラン実行委員会
委員長 三井 秀和

みなさん三井委員長のご支援をよろしく

坂倉 洋

15年前、第1回東京YMCAチャリティーランが行われました。それから8年後、東京以外の都市ではじめてのチャリティーラン第1回名古屋YMCAチャリティーランが名城公園で行われました。2001年、東京YMCAチャリティーランは15回目、名古屋YMCAチャリティーランは8回目の開催です。名古屋YMCAチャリティーランの成功が全国のYMCA・ワイズメンズクラブに波及し、2000年は全国13ヶ所で開催され、約2500人のランナーと3000人のボランティアが参加する大会に成長しました。これにより、2400万円を全国のキャンプ・プログラムに届けることができ、約4000人の子供とユース・ボランティア・リーダーがプログラムを楽しみました。

『東京以外の都市での開催は無理だろう』と言われたチャリティーランを名古屋で開催しようと考えたのは吉田一誠委員長率いる名古屋YMCAボランティアセンターでした。

吉田一誠兄は第1回名古屋YMCAチャリティーランの運営委員長としてチャック・ウィルソンをはじめ多くの人々の協力を得て東京以外の都市でのチャリティーランを大成功に導きました。

吉田一誠兄いわく『この人の協力なくして、第1回名古屋YMCAチャリティーランの成功はなかった。』といわれたのが第2回・第3回・第4回のチャリティーラン運営委員長の小沢氏(ブラザクラブ)でした。現在でも小沢氏はチャリティーランの最大に功労者です。ボランティアセンター運営委員会では小沢氏の負担を少しでも減らそうと考え、第1回名古屋YMCAチャリティーランの運営委員長出身クラブであるグランパスに委員長の派遣を求めてきました。

ボランティアセンター運営委員会の依頼を受けたグランパスの阿部会長は、『三井さん以外に適任者はいない』と考え三井さんをお願いしたところ最初は固辞していた三井さんも最終的には快諾しま

した。

こんな訳で、今年のチャリティーランはグランパスで、最大限の協力と参加をしていかなくてはいけないと思われます。皆さん協力してください。

名古屋グランパスクラブ 10周年記念事業について

はじめに

1年間かけて10周年について議論してきたが、具体案に至る事が出来なかった。これについては会長として残念であります。しかしながらこれが現状のグランパスの実態であり、「誰かがやってくれるは」の意識の現れの何物でもありません。この現状を打破し、以前の一つに向かっての仲間意識を取り戻す為、グランパス一人ひとりの意識の高揚を期待します。再びグランパスをよみがえらすために。

経過

基本的に10周年はクラブとしてひとつの通加
点という考え方である。

- ・これを受けて、記念事業は10周年を節目として立ち上げ、継続していくものでなければならない。また、ワイズメンズクラブがYMCAのサポート団体である以上、グランパスが所属する名古屋YMCAに対して、何らかの貢献するものでなければならない。
- ・当初発案された「根の上キャンプ場再生」については、基本的なYMCAの根の上に対する考え方、費用面、利用計画など現状のグランパスとして寄与出来る部分が少ないと判断し、今までの協力にとどめることとした。
- ・第2案として今の名古屋YMCAの事業のひとつである「フィリピンワークキャンプ」への支援を提案する。理由として；

名古屋YMCAとして大切なプログラムのひとつであり、今後も充実していきたいと考えている。

第1回キャンパーとして坂口君など、グランパスメンバーの何人かがキャンパーとしての経験者でいる。

ここ数年、壮行会、帰国後の報告会にクラブとして応援、援助してきた実績があり、帰国後のキャンパーたちの感動を目の当たりにしている。

近年、参加者の減少など課題も出てきているので、広報を含めサポートするところが今後出てくると思われる。

歴代のキャンパーを集め、OB会組織を作るなどして、YMCAを離れていった人の呼び戻しや、クラブへの勧誘などYおよびワイズ運動の発展につながる。

準備委員会、実行委員会

- ・7月9日(月)PM7:00~YMCAにて準備委員会を開催、実行委員会体制をつくり、その後実行委員会を立ち上げる。各委員会の長の予定者の方は、なるべく出席をお願い致します。出席出来ない長の予定者の方は副の予定者の方が出席をお願い致します。

10周年記念事業実行委員会(案)

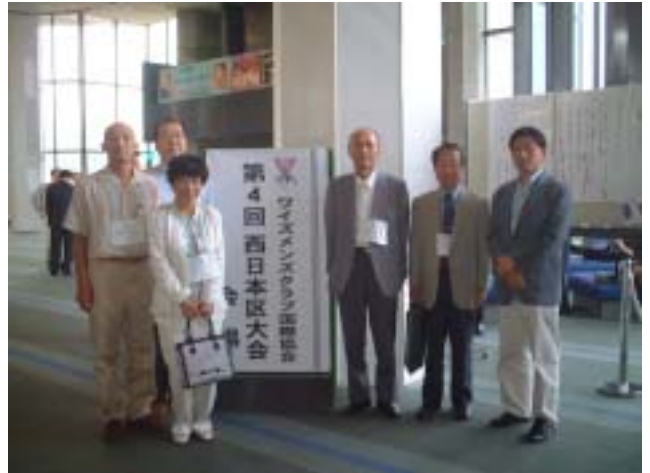
統括実行委員長	阿部
事務局	(長)服部、(副)坂野、亀谷
記念史編集委員会	(長)早川、(副)加藤元、 荒川、池野、吉田正
記念行事委員会	(長)高田、(副)坂口、三井、 佐々木、山口
記念ファンド委員会	(長)松原、(副)佐藤、
記念式典委員会	(長)井川、(副)坂倉、馬場、 里、木野村、舩戸

第二例会報告

- 1 会員フェスティバル (高田)
 - ・7月20日(祝) 常滑市鬼崎港 10:00~
 - ・バーベキューとヨット(ヨットクラブの協力)
 - ・15日草刈りをする。グランパス一泊例会の後手伝いをする。
- 2 サンドルクラブ 20周年 (阿部)
 - ・来春予定に訪韓。
 - ・秋のグランパス10周年には招聘。
- 3 YMCA100周年募金
 - ・2万円/一人をクラブで立て替えて支払いし、年末までに回収する。
 - ・高田君にまとめて頂いたマイラインファンを協力者の分として充当する。

- 4 日和田火まつり (早川)
 - ・ 8月14日(土)一泊例会で早川君が出欠をとる。
- 5 10周年の臨時徴収 (阿部)
 - ・ 今年10周年のための臨時徴収五千円をしたが、次年度はどうするかの議案が出され、引き続き徴収する事となった。
- 6 チャリティーランへの意見 (三井)
 - ・ 三井実行委員長より今年への意見が欲しいとの発言。
 - ・ 参加企業が少なくなってきたので、一般チーム参加を増やすため、今までと違った策を考えて欲しい。
 - ・ ラッフルの問題。開催側身内の当選が多いのは問題ではないか。
 - ・ 一般参加者から見ると内輪的な感がある。
- 7 10周年について (阿部)
 - 前項参照

第4回 西日本区大会



大会参加の面々。グランパスからは阿部会長、池野兄、服部兄が参加しました。



壇上には我がグランパスのバナー



2001～2002年度 クラブ役員

会 長	：	坂野 清治	
副 会 長	：	佐藤 壽晃、阿部 一雄	
書 記	：	服部 庄三	
会 計	：	松原 誠	
会計監査	：	南里 道子	
E M C	：	坂口 功祐、馬場 寅太郎	
Yサービス	：	坂倉 洋、早川 政人	
		丹羽 真清	
交 流	：	池野 輝昭、三井 秀和	
地域奉仕	：	井川 幸吉	
プログラム	：	高田 士嗣、坂口 功祐	
		加藤 元紹、藤田 留美	
		里 昌信、佐々木 忍	
広 報	：	高田 士嗣	
ファンド	：	吉田 正、木野村 映	
プリテン	：	荒川 恭次、服部 庄三	
直前会長	：	阿部 一雄	
連絡主事	：	亀谷 龍生	
その他	：	舟戸 章	